

鏡川に天然アユ100万尾復活を

高知市では、環境省より「平成の名水百選」に選定された^{かがみがわ}鏡川に天然アユ 100 万尾復活を目指し、それを軸に鏡川流域の再生を目的とした事業に取り組んでいます。

昨年度、アユの産卵の時期に^{かちゅうぜき}廓中堰の水門を一部開放し、試行的に水位を下げる事業を実施した結果、今年の天然アユ遡上数は例年の 1.8 倍の 29 万 7 千尾と大きな効果があったため、今年度も継続することとなりましたのでお知らせします。

期 間

- 平成 21 年 10 月 16 日(金)から 12 月 28 日(月)まで

運 用

- ^{かちゅうぜき}廓中堰中央ゲートを半開放する

目 的

- 通常水没している鏡川橋付近に新たなアユの産卵場を形成する
- そこで生まれたアユをすみやかに海まで流下させる

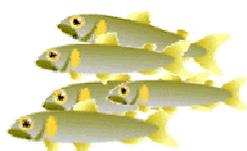
詳細については裏面をご覧ください



廓中堰

事業へのご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

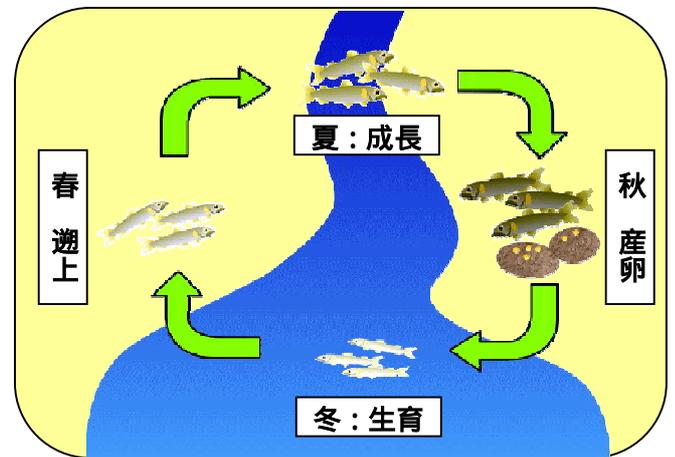
なお、生活に影響がない範囲で自然環境との調和を目指した運用を計画しておりますが、何か異常やお問い合わせがありましたら下記までご連絡ください。



高知市役所 環境保全課 自然保護係
TEL 088-823-9471
FAX 088-823-9493
E-mail kc-181300@city.kochi.lg.jp
URL www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/67/

アユの生態

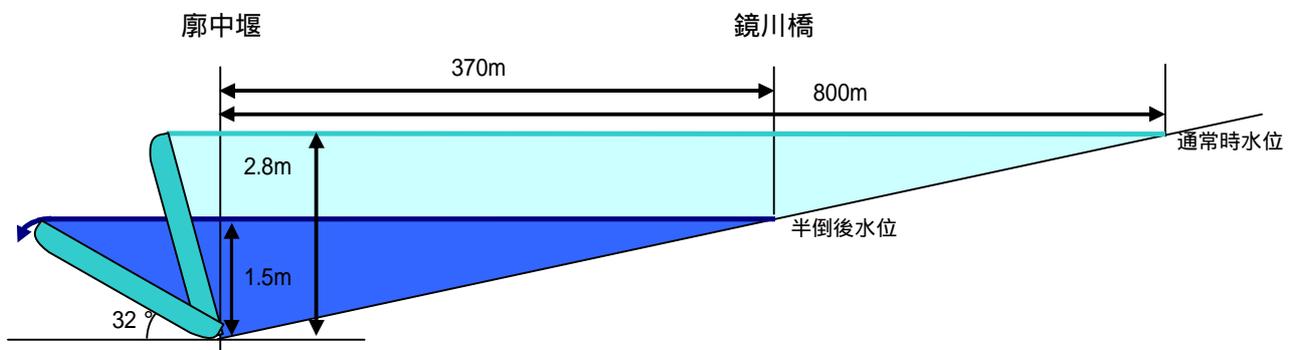
アユは秋から冬にかけて下流部の浅瀬で産卵し、ふ化した仔アユは水流に身をゆだねて海まで流下して海で成長した後、春に川にのぼってきます。ふ化した仔アユは3～4日以内にエサのある海まで流下できないと死滅してしまいます。



運用方法

廓中堰の中央ゲートを水深 1.5m となるよう半開放します。通常時（ゲート閉鎖時）は廓中堰上流 800m にわたって貯水部分がありますが、半開放により 370m 付近まで減少します。

水位変化のモデル図



目的

- 水位を下げることで、鏡川橋付近にアユの産卵に適した浅瀬を出現させ、新たな産卵場を形成します。
近年は新月橋上流まで海水の影響が及んでおり、下流側にアユの産卵場を形成できません。
産卵場は年々減少し、昭和 50 年時の 10 分の 1 にまで減少しています。
昨年度は、ゲートを半開放したことにより、全体面積の 25% にも及ぶ新たな産卵場が形成されました。
- 廓中堰上流でふ化した仔アユをすみやかに海まで流下させます。
通常（ゲート閉鎖時）は、廓中堰の貯水部を仔アユが流下するのに 2 日間かかり、廓中堰上流でふ化した仔アユのほとんどはエサのある海まで流下できずに死滅しています。
昨年度のゲート半開放時には、閉鎖時よりも明らかに流下速度が上がり、大きな効果がありました。
- アユの産卵は、10 月中旬から 12 月上旬にかけて行われるため、その期間にアユが産卵し、ふ化した仔アユが流下できる期間を設定しています。
- 水利用と自然環境の調和を考慮し、ゲートを全開放せず半開放としています。

廓中堰位置図

